

学校保健

SCHOOL HEALTH

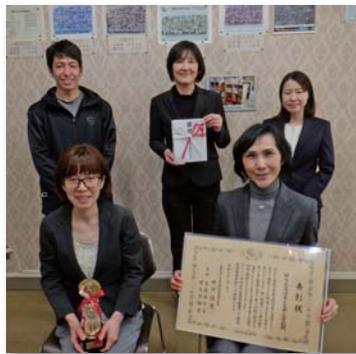
2022. 3 No. **353**

公益財団法人
JSSH 日本学校保健会
JAPAN SOCIETY OF SCHOOL HEALTH

<https://www.hokenkai.or.jp/>

地域と連携した児童生徒の健康づくりの推進に特色ある学校を評価

令和3年度 全国健康づくり推進学校表彰



群馬県高崎市立矢中小学校



岐阜県岐阜市立茜部小学校



熊本県熊本市立城東小学校



熊本県熊本市立三和中学校



大阪府立とりかい高等支援学校

主な誌面

令和3年度全国健康づくり推進学校表彰
最優秀校紹介・講評……………1～3
特集 学校における感染症への対応
コロナ禍の学校で、感染症対応に活かす養護教諭の視点……………4～5
シリーズ⑧「健康教育をささげる」
学校薬剤師の抱える課題とその対応、今後の展望……………6～7

全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑧
愛知県立三好特別支援学校……………8
学校におけるアトピー性皮膚炎Q&A改訂について……………10
令和3年度日本学校保健会賛助会員一覧……………11
……………12
……………14

**最優秀校受賞校の皆様、
おめでとうございます**

令和4年度も引き続き健康教育に特色ある学校のご応募をお待ちしています

回覧

校長	教頭	保健主事	養護教諭	養護教諭	PTA会長	学校医	学校歯科医	学校薬剤師

【お知らせ】「学校保健」は年6回（奇数月）の発行です。学校保健委員会の参考に学校三師の方々へもご回覧ください。

令和
3年度

公益財団法人 全国健康づくり推進学校表彰
日本学校保健会

— 最優秀校紹介 —

やさしく なかよく
かつどうできる児童の育成
～家庭・地域と連携した安全教育や
あたたかな学級・学校をつくる指導を通して～

群馬県高崎市立矢中小学校



学級や学年、異学年の友達との協働や家庭・地域の様々な人との関わりを通して自他のよさに気付き、自他を大切にする心を育んだり、子供たちが健康や安全についての意識を高めたりする活動に取り組んでいます。

主体的に心身の健康や安全に配慮した生活ができる子の育成
～地域全体で Quality of Life の向上を目指して～

岐阜県岐阜市立茜部小学校



健康教育推進の5つの柱である保健・安全・食・運動・環境衛生の校内体制と、家庭・地域との質の高い連携を生かし、生涯を見据えた Quality of Life の向上を図る力を育む取組を推進しています。

よりよい生活に向けて変わり続ける
すこやかな城東っ子の育成
～教師主体から児童主体の健康づくり～

熊本県熊本市立城東小学校



健康な生活について自ら考え行動できるように、6年生を中核とした「児童主体の健康づくり」を推進してきました。ICTを効果的に活用した家庭・地域への啓発と連携に取り組んでいます。

一人一人が夢や希望に向かって主体的に健康づくりに取り組む生徒の育成
～組織的活動を生かし生徒の自立を促す健康教育の推進をめざして～

熊本県熊本市立三和中学校



自己肯定感を高め主体性を培い、生徒自らが課題解決に向け行動することを目指しています。「三和健康フォーラム」を中心に保健委員会活動の活性化を進め、今後も「チーム三和」で健康づくりに取り組んでいきます。

就労後の自立を目標とし、人生100年 時代を生きていく力の育成 ～生徒主体の健康課題への実践と発表～

大阪府立とりかい高等支援学校



地域社会で自立して生きていく力の育成を図るため、社会人としての生活習慣や勤労を重んずる態度を養います。今後もヘルスプロモーションの観点から、生徒が自らの健康を改善することができるように生徒保健委員会活動を続けていきます。

受賞校の皆様、 おめでとうございます

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、全国健康づくり推進学校表彰式ならびに実践発表会が中止となりました。

日本学校保健会 HP に最優秀校の実践発表動画を公開しています(要登録)。

また、最優秀校・優秀校の実践報告をデジタルアーカイブから読むことができます。

地域と連携した児童生徒の健康づくりに特色ある学校の取り組みをぜひご覧ください。



https://www.hokenkai.or.jp/hyosyo/2022_commendation.html



令和3年度の審査を終えて

審査委員会小委員長 村田 光範



令和3年度は、小学校37校、中学校18校、高等学校3校、特別支援学校4校の推薦があった。これらの学校の中で、群馬県高崎市立矢中小学校は「多彩な健康づくり推進活動を行っているが、中でも児童自らが課題に気づき、考えて行動しそれを解決する心豊かでたくましく生きる児童を育成していること」、岐阜県岐阜市立茜部(あかなべ)小学校は「児童の主体的な態度の育成を重視した上で、歯科保健教育、安全教育、教育相談活動、環境衛生活動などの多様な健康づくり推進活動を展開していること」、熊本県熊本市立城東小学校は「すべての教職員が共通した基盤に立って児童主体の実証的な健康づくりをするとともに、これらの活動を家庭・地域の協力を得ながら継続し、成果をあげていること」、熊本市立三和中学校は「生徒自身が夢や希望に向って自分の心と体の健康をみつめ、考え、そして自己管理できる健康づくりをしていること」、大阪府立とりかい高等支援学校は「すべての生徒の活動成果として、生徒保健委員会を主体とした対外的な研究大会での健康・環境・安全教育の継続的な実践発表が継続的に行われていること」が評価され、最優秀校となった。高等学校については最優秀校に該当する学校がなかった。

最優秀校に準ずる学校として埼玉県春日部市立牛島小学校は「家庭や地域と連携して食育を核とした健康づくりを推進してきたこと」、そして山形県村山市立楯岡中学校は「家庭・地域・関係団体・行政と一体となり健康づくりを推進してきたこと」により特別協賛社賞を受賞した。

特集

学校における感染症への対応

第5回 / 全5回予定

コロナ禍の学校で、感染症対応に生かす養護教諭の視点

静岡県立伊東商業高等学校 養護教諭 萩原 優佳

はじめに(学校紹介)

本校は、静岡県東部伊豆地区に位置する、全校生徒314名、教職員42名の商業高校で、学校教育目標『有徳のビジネスパーソンの育成』を掲げ教育活動を行っている。令和5年4月に伊東地区県立学校3校の新構想高校改編が控えており、その校舎建設のため、令和3年4月より、現在、静岡県立伊東高等学校と1つの校舎で2校が生活しているという、珍しい学校環境にある。

過去の経験を生かした未知の危機への対応

1 「新型インフルエンザ」流行の経験から、常に先を予測する意識をもつ

平成21年度の新型インフルエンザ流行時、毎日の新規出席停止者数が3～5名程度であった中、ある日、1日の新規出席停止者数が51名にのぼった。当時の連絡手段は電話のみであったため、校内の電話回線がパンク状態になった。学校でひとたび集団感染が起これば、学級運営、授業展開、様々な変更を余儀なくされ、あらゆる日常活動が停止となる。身体的不調だけでなく、生徒職員共に、その状況による心の疲労も大きい。日本国内で、新型コロナウイルス感染症の流行の兆しが見えた時、いずれ学校にもこの感染流行の波が来ると予測し、学校内で同じ状況にしてはならないと再認識した。

2 「感染性胃腸炎」対応の経験から、目に見えないウイルス・細菌に対して、的確に判断する

かつて、運動部の県外遠征に引率した際、目的地到着直後、グラウンドで嘔吐した生徒が居た。その時の状況(長時間のバス移動)と問診から車酔いと見立てて対応。しかし、その後複数の生徒が発熱・不調を訴えたため、不調生徒の受診対応とともに、合宿所のトイレや廊下の手すり、あらゆる箇所の消毒に追われるという経験をした。ウイルスや細菌が目に見えたら……と切に感じ、目に見えないものへの対応の難しさと的確な判断の重要性を痛感した。

3 「集団感染」の経験から、機を逃さず、適切な対応をする

過去に、検定試験や学校行事を考慮した結果、インフルエンザ対応の学級閉鎖のタイミングが遅れ、集団感染へと拡大したことがあった。出席停止や学級閉鎖等を決定するのは学校長であるが、養護教諭として学校医の先生方に御指導いただき、適切なタイミングで対応に必要な意見を述べるべきと反省とともに学んだ。

新型コロナウイルス感染症対応では、「新型インフルエンザ」「感染性胃腸炎」「集団感染」の経験で得た学びを踏まえ、学校全体の取組の基盤として生かせるよう、様々な場面で働きかけた。

具体的な取組

- ・ コロナ禍での学校生活ルールの確認
- ・ 校舎内の水道蛇口の非接触作動化
- ・ 教室の欄間、出入口扉にストッパー装着(換気)
- ・ 各教室へのCO2モニターの導入
- ・ 昼食時間の設定(給食ではない高校でも、黙食で一斉に食事を摂る時間の設定)の提案

など

感染症予防の取組は多岐にわたるが、一つ一つの取組の背景には、生徒の心身両面の健康状態をみる養護教諭ならではの視点、大切な意図やねらいがある。

取組の背景にある養護教諭の意図・ねらい

1 共通理解を図る・前提知識の共有

(1) 教職員に対して

コロナ禍1年目となった令和2年度は、出席停止の基準や環境消毒の頻度など、学校にとっても新しいことの連続であり、一方、感染症情報がメディアで扱われない日はなく、各々が様々な情報を取得していた。学校として一枚岩で対応するために、同じ知識・情報の共有が重要と感じ、県教育委員会から示される文書や文部科学省の衛生管理マニュアルを基に、職員の共通理解に努めた。当時、全職員が衛生管理マニュアル全ての内容を理解している状態にしなければ、と考えたものの、文書量も内容も多く、刻々と変化する状況の中で、日常の生徒対応に関わるものなど最低限の徹底を目指すよう私自身の考えも変化した。方法には苦慮したが、最終的にはA4片面1枚のフローチャートにまとめた。現在では管理職がまとめることとなり、A4両面1枚の内容を、全職員で共有できるようになった。

(2) 生徒に対して

手指消毒液や手洗い石けんの準備、継続的な換気方法の工夫など環境整備は重要だが、集団生活の学校においては、取組内容よりも、まず、目的(何のためにそれをするのか)や、目標(この集団は何を目指しているのか)の共有が重要だと考える。例として、デルタ株流行中であった2学期始業式の保健指導で用いた本校の保健だよりを紹介する。「この目標のために全校生徒で取り組む」という共通目標の確認から始め、「人それぞれ感じ方は様々。しかし、集団生活だから共通目標に向けて行動する」という確認で締め、高校生の意識に向けた保健指導を実施した。



2 言葉選びへのこだわり

新型コロナウイルス感染症対応初期、様々なことが手探り状態であった頃、コロナ禍の学校目標として『コロナ0(ゼロ)』が示されたが、私には違和感があった。学校の目指す姿として掲げたものが、偏見や分断、いじめにつながってはならない。COVID-19は、日常生活を送っていればどこかで感染してしまう可能性が全員にある。全校生徒の安心と安全を守るために学校として何を大切にしなければいけないか考えた末、私は集団感染を発生させないことこそ重要だと考えた。そのため、まだ地域の蔓延状況が低かった時期ではあったが、『『コロナ0』ではなく、『集団感染ゼロ』にしてください』と、何度も訂正した。他の職員にとっては、大した違いではないかもしれない。しかし、私は、学校の目指す姿として大きな違いがあると考えた。

おわりに

コロナ禍において、日々変化していく状況の中、その対策や取組の責任の大きさや職務の増大があっても、養護教諭として私自身が心身の健康を維持してこられたのは、仲間がいたからです。励まし合い、協力し合い、共に乗り越えてきた近隣校養護教諭、様々な取組を示してくださる先輩養護教諭、養護教諭の横の繋がりを強く感じた2年間でした。多くが一人職であるからこそ、取組の背景に養護教諭ならではの意図・ねらいがあり、それこそが唯一無二の強みであると再確認しました。これからも、学校では一人の存在ですが、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方に御指導いただきながら、他の教職員と協力して、学校・子どもたちの健康を守っていく所存です。

「健康教育をささえる」 ～学校薬剤師の現場から～

学校薬剤師の抱える課題とその対応、今後の展望

公益社団法人日本薬剤師会 学校薬剤師部会幹事 木全 勝彦

当会では現在、次の2点を重点課題として取組を進めている。

1. 換気について

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年8月20日文部科学省事務連絡により、「密閉を回避するため、気候上可能な限り、常時換気に努めること。また、エアコンは室内の空気を循環しているだけで、室内の空気と外気の入れ替えを行っていないことから、エアコン使用時においても換気は必要であること。さらに、十分な換気ができているか確認するためには、換気の指標として、学校薬剤師等の支援を得つつ、CO₂ モニターにより二酸化炭素濃度を計測することが考えられること。」と示されたことから、「換気」についての問合せが当会にも多く寄せられている。

学校環境衛生基準では「換気の基準として、CO₂ は、1500ppm* 以下であることが望ましい。」とされており、実際に定期検査を実施している学校薬剤師が、担当校の教室の「換気」について助言することは当然のことであり、適切な対応だと考えている。（※建築物環境衛生管理基準では空気調和設備を設けている場合は1000ppm 以下）

しかし、CO₂ の測定方法については長く検知管法が使用されてきたこともあり、NDIR（非分散型赤外線）式ガスセンサーを用いた測定器の扱い等について適切な指導ができるのかは、コロナ禍の中、研修等にも制限がかかり確実とはいえない状況がある。こうした点について、当会としては今夏には技術講習会を開催する予定であり、会員の指導力アップを図りたいと考えている。

また、新型コロナウイルス感染症に限らず、麻疹、結核、水疱瘡、インフルエンザといった感染症の予防と換気の間には関連があるという強力で十分なエビデンスがあるとされていることから、CO₂ 測定を比較的安価で扱いやすい NDIR センサーの測定器が推奨されている。しかし、測定結果については、定期的に校正が行われている場合を除き、正確な測定値として扱うべきではなく、あくまで目安として使用すること。そして、各教室に設置している学校もあるかと思われるが、設置場所としては、ドア、窓等の換気口から離れた場所で、人から少なくとも50cm離れた場所とすべきであることに注意する必要がある。また、学校環境衛生基準では、適当な場所一か所以上の机上の高さで、ビル管理法では、部屋の中央部の床上75cm



デジタル CO₂ 計（左：日常使用の安価版、右：検査用）
（NDIR センサーでも測定精度等に差がある）

以上 150cm 以下の位置で測定を行うとされていることにも留意することが求められる。

なお、測定の頻度について連続測定は必ずしも求められていないが、換気扇などの機械換気設備がある場合は、定期的に測定すれば十分である。しかしエアコン導入は進んでも、機械換気設備がない、または換気量が十分でない学校等で窓開けによる換気を行う場合には感染リスクの指標として用いることが推奨される。

さらに、「換気」については温度・湿度・気流といった要因も CO₂ 濃度に影響を与えることから、今後、会員の知見を深めるよう研修会等の充実を図っていきたい。

2. 薬物乱用防止教育の充実

新型コロナウイルス感染症の流行により、学校の休校、イベント自粛、不要不急の外出を控える要請等による社会全般の停滞と、誤情報やフェイクニュースの流布といった要因も重なることで、平成26年度 1,761 名であった大麻検挙者数が令和2年度 5,034 名と過去最大に急増した。その中でも特に30才未満の年代層が約7割を占めているという特異状況、そして、厚生労働省の「大麻等の薬物対策のあり方検討会」のとりまとめから、大麻が含有する成分（THC）に着目した規制及び使用罪の導入等を含めた法改正が進められていることに鑑み、従来の「ダメ。ゼッタイ。」をキャッチコピーに薬物乱用の恐ろしさのみを強調するのではなく、自分の健康や社会に及ぼす影響を含めて、なぜダメなのかを医学・薬学及び法令（麻薬五法*を中心に薬に関する法令、関税法、少年法の改正等）との関係性から丁寧に指導する。加えて、今後、学校において進められる ICT 教育を中心とした、情報化社会における情報流通への対応等を含め、薬物に対するエビデンスの高い、正しい情報（知識）を基にした、より再現性が高い正確な情報を青少年に与えることで、自らも考えさせ、そして明日、将来につながるような指導を行っていく必要があると考え、昨年より当会では「くすり教育研修会」等を中心に、薬物乱用防止についての指導方法等の見直しを計ってきた。

しかし、昨年12月女子高校生が誘拐され死亡する痛ましい事件が起こった。死亡した原因は薬の大量摂取「オーバードーズ」であり、SNSを通じて知り合った仲間と容疑者の自宅からは、抗不安剤、睡眠導入剤や咳止めの薬など合法的な薬物の「空きガラ」が見つかったとされ、学校関係者には衝撃的だったと思われる。

このように、最近では従来の違法薬物だけでなくカフェインを筆頭に、医薬品、医薬部外品、食品（清涼飲料水等）といった垣根が曖昧な物質での不適切使用も目立ってきていることから、「くすり教育」での医薬品の適正使用について専門家である薬剤師がもっと積極的に関わっていく必要があると考えられ、保健主事、養護教諭、保健体育課教諭及び他の薬物乱用防止指導者間との連携を図りながら、薬物乱用防止活動の充実・推進に寄与していきたいと考えている。



睡眠薬や抗不安薬は急な減量や中断に注意！

全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑥

学校全体で取り組む保健教育を目指して ～障害特性に応じた工夫と主体的・対話的で深い学びを通して～

令和2年度最優秀校 愛知県立三好特別支援学校

1 本校の概要

本校は、愛知県のほぼ中央部に位置し、知的障害特別支援学校として昭和50年に開校した。小学部、中学部、高等部の他、施設内教育、訪問教育を合わせ320名が在籍している。児童生徒の実態は、自閉症が全体の60%を超え、療育手帳A判定が68%と障害の重度化・重複化が進んでいる。教育目標を「児童生徒一人一人の個性とニーズを踏まえ、健やかな体と豊かな心、粘り強く取り組む力を育み、自立と社会参加への基盤の育成を目指す」として、教育活動を進めている。



2 保健教育への取組

(1) 教職員のもつ課題

保健教育については、多くの教職員がその重要性を感じながらも、「内容の系統性がとれず、他の教科との関連性が難しい。」などの声があり、健康や安全への思いや願いが実践に結びついていない実情があった。過去の実践を改善、追加しながら、より充実した保健教育につなげることをねらいに取組を進めた。

(2) 児童生徒の健康課題と実態

本校の児童生徒の健康課題は、体調の変化を周りの人にうまく伝えられない、障害特性のために検診や検温などが受け入れられない、歯みがきや手洗いなどの清潔や運動・食生活といった生活習慣が身に付いていないなどである。反面、視覚的支援や段階的な指導、繰り返しの指導で学習の定着が期待できる。障害特性を踏まえた指導や支援を行うことで、課題の克服ができると考えている。

3 実践の様子とその成果

(1) 視覚的支援や実態に応じた教材教具の提案

『学校保健計画』の目標に合わせたイベントなどを企画し、児童生徒の興味・関心を引き出せるような教材教具を準備、提案した。全体の取組として、生徒保健委員会や放送委員会と連携することで、生徒自身の活動の幅を広げることができた。年度当初に行う健康診断では、不慣れなことや感覚過敏がある児童生徒が落ちついて検査を受けられるよう工夫をした。絵カードやタブレット端末で教材を作成し、実際の器具を用いて繰り返し練習して検査に見通しをもてるようにした。

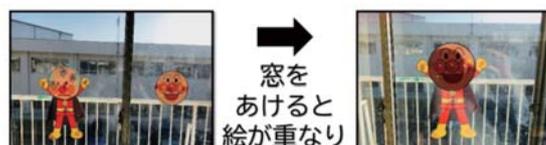
他にも、「歯みがき仕上げ教材」や「身だしなみチェック表」、「手洗いチェッカー」などの教材を提供した。児童生徒が視覚的に確認できるようにしたり、指導のポイントを分かりやすく示したりした。教材を使った教職員からは、「歯全体をみがけるようになった。」「日直が身だしなみチェックを働きかけるようになった。」などの感想が多くあった。

感染症の予防では、「手洗い・うがい」を励行した。スモールステップでの段階表や当事者目線で撮影した手順の動画を提供した。さらに、教室の換気を促すために窓へキャラクターの絵を貼る工夫をした。絵合わせを楽しみながら自然に換気に取り組めた。

給食では、食堂前の掲示板を活用し、季節の食物や健康



【歯みがき仕上げ教材】



【換気を促すイラストの掲示】

について興味をもてるような工夫をした。また、毎年1月の給食週間には、栄養教諭と保健委員会の生徒が給食感謝の集いを催し、給食に関するクイズをしたり調理の様子をビデオ視聴したりしながら、視覚的に分かりやすい学習に心がけている。

(2) 授業づくりや研修に関する指導力の向上

学校全体で進める保健教育の観点から、年間指導計画の見直しと児童生徒が「主体的に活動できる授業づくり」を目指してきた。「教科会」で、新学習指導要領に示された三つの柱を念頭に置いた授業を協議した。そして、従来の「知識・技能」の習得だけではなく、「思考力・判断力・表現力」の育成をねらいとした場面を作るようにした。高等部の授業では、教師が一方向的に教えるのではなく、学びの中での気づきを待つなど、教師の関わり方を見直した。また、保健体育科の教科会では、教科と日常生活における保健教育の相違点や他教科との連携を確認した。取り組むべき内容や指導方法を全員で確認したことで、保健教育への意識を高めることにもつながった。

(3) 家庭や地域への保健教育の発信

本校の取組を学校医や保護者に発信する方法として、「学校保健委員会」を行っている。地域の消防署員を講師に「緊急時の応急処置について」の研修を行い、実習を交えて具体的に学ぶことができた。他にも、学校三師とPTA役員に、学校保健の状況などの取組を紹介し、安全や保健衛生に関する取組の成果を伝えた。保護者からは、「実生活の中でも活用でき、家庭や学校と連携した保健教育に生かすことができた。」とあった。全教職員にも内容を伝達・共有することで、保健教育への意識をより高めることができた。



【学校保健委員会】

(4) 地域の専門的な知識資源の活用

地域の専門家を講師として迎え、授業を実施している。高等部では、学校薬剤師と養護教諭が連携して「市販薬の正しい服用方法(薬の決まり)」の授業を実施した。薬の飲み方のこつや危険性を実験を通して学んだ。授業後には薬剤師の周りに生徒が集まり、飲んでいる薬について質問するなど、薬剤師の授業参画に成果があった。中学部では、歯科衛生士が歯の衛生に関する授業を実施し、衛生士からみがき残しのない方法を教わった。生徒は染め出し液で染まった歯を見て「みがき残し」を区別し、歯ブラシの向きや動かし方を工夫しながらみがき直すなど、生徒が自ら気づいて歯みがきを見直すよい機会となった。



【歯と口の健康教室】

4 まとめと今後の課題

年度末に、教職員に「保健教育に関するアンケート」を実施している。その結果、保健目標を踏まえた保健教育実施率は、平成29年度は全体で64.5%であったものが、令和元年度は79%に達し、保健教育への理解と実践が浸透していることが分かった。

各部の取組を通して、小学部・中学部は視覚的教材がより効果的であり、高等部では、チェックシートが習慣づくりの動機になることが分かった。年齢や発達段階に応じた教材教具の活用が必要で、児童生徒は「学ぶことの楽しさ」を感じると意欲的になり、主体的な行動変容に結びつくことも分かった。

保健教育を学校全体で行うには、共通理解を図ることが基盤となる。教職員同士の意見交換、学校三師や保護者、地域へ発信することの意義はとても大きい。しかし、関連教科間の連携や取組の評価が不明確であったため、今後は、より具体的な目標を設定するなどして保健教育を推進していきたい。

5 新型コロナウイルス感染症拡大防止にあたり

令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症への対応が必要となり、行事の取組や学習活動の見直しを行った。本校ではいち早く具体的な学校生活場面での感染症対策を示した『本校での学習活動Q & A』を作成し、対策の指針としている。今後も安全で安心できる学習環境を整えていくためにも、教職員や児童生徒自身が主体的に行う保健教育に一層力を入れていきたい。

学校におけるがん教育

— 放射線治療のアニメ教材 —

東京大学医学部附属病院放射線科 病院診療医

南谷 優成

東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授

中川 恵一

● がん教育

日本人の2人に1人ががんになる時代です。学習指導要領の改正により、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から、高等学校では令和4年度からがん教育が必修化されます。健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者さんやその家族など、がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに重要な資質や能力の育成を図ることを目的としています。さらなる理解のために、がんの専門医やがん経験者などの外部講師を活用することも効果的であると考えられています。我々も外部講師として子供達の授業に参画しております。

● 放射線治療

がん教育では、①がんとは(がんの要因など)、②がんの種類とその経過、③我が国のがんの状況、④がんの予防、⑤がんの早期発見・がん検診、⑥がんの治療法、⑦がん治療における緩和ケア、⑧がん患者の生活の質、⑨がん患者への理解と共生、を教えることと定められています。①-⑨のそれぞれについて、学校教育の場で教えていくことになります。

ここで、⑥がんの治療法について触れていきましょう。がん治療の3本柱は今も昔も手術療法、薬物療法(抗がん剤)、放射線療法の3つです。最近はこちらに先日ノーベル賞をとったことでも話題になった免疫療法が加えられることもあります。基本的には手術と抗がん剤と放射線治療を組み合わせ、それぞれのがん患者さんに最適な治療を行っていくことになります。その中で我々が専門にしている放射線治療です

放射線治療適応率の日米欧較差



が、残念ながら世間の方への認知は今一つです。手術や抗がん剤のように医療ドラマなどで取り上げられることが少ないからでしょうか。2020年に日本放射線腫瘍学会が行った健康な成人へのインターネット調査でも、がんの3つ治療法の「イメージが浮かばなくて怖い」と考える割合は、手術(48%)や抗がん剤(43%)であったのに対し、放射線治療は52%と最も高い結果でした。放射線治療の正しい知識の不足が、怖いイメージに繋がっているのかもしれませんが。実際に日本のがん患者に対する放射線治療適応率(2009年)は、欧米の約半分程度の25~30%にとどまっています。

ではここで放射線治療のトリビアを1つ。放射線治療は2Gy(グレイ)という線量をがん25-35回程度当てるとということが一般的です。放射線でがんを焼き切ってしまうという説明がされることがありますが、1Gy=1J(ジュール)/kgですので、エネルギー量としてはごくわずかです。よりわかりやすく表現すると1J=0.24calですので、2Gyは20℃の水1グラムを約2000分の1℃上昇させるエネルギーでしかありません。これほ

ど少ない熱量ですので、放射線治療中は何も感じることはないわけです。焼き切るのではなく、がん細胞のDNAを破壊してがんを倒しているということになります。

● 放射線治療のアニメーション教材の作成

放射線治療への誤ったイメージの払拭と、正しい理解を通じて日本における放射線治療の普及を目指し、日本放射線腫瘍学会では、放射線治療のパンフレットと、がん教育でも利用できるアニメーション教材「最先端科学でがんを戦う～がんは放射線治療の時代へ～」を作成しました。約9分間で放射線治療を知っていただけるアニメです。

『ある日、高校生の少女は肺がんになった祖父から「放射線治療を受けることになり、手術なしでも治るかも」とメッセージを受けとる。すると突然、少女の目の前にSF風アニメーションで医師と医学物理士が登場。少女の「放射線治療って？」という疑問に実写映像とアニメを組み合わせで詳しく教えてくれる』というストーリーになっています。これまでも放射線治療の解説の動画はありましたが、アニメが中心になることで、より子供を含めた一般の方にもわかりやすい内容となったと思います。どうやってがんの場所を特定し、どのように正常な細胞を傷つけずにがんに集中的に放射線を当てることができるか、治療にかかる費用や治療と仕事の両立や、医師と患者と一緒に治療法選択など、がん患者さんも気になるポイントをしっかり解説しています。上に出てきた医学物理士という職業も、放射線治療の中ではとても重要な役割を果たすので、動画を見て学んでもらえるとよいと思います。

がん治療の中でも重要なウェイトを占める放射線治療ですが、放射線治療のエキスパートである専門医は1000人強しかおらず、日本国内の33万人程度の医師(2018年末)の中のわずか0.3%程度に過ぎません。都道府県内に放射線治療医が数人しかいないような地域も複数存在しています。外部講師として子供たちのがん教育に携わることになる放射線治療医の数は、極々わずかだと思います。さらに、実は一般の方々と同じように医師にとっても放射線治療は触れたことがない領域で在ることも多く、がんの専門医でも授業で話すことは難しいかもしれません。そんな状況に備えて、今回のアニメ教材が作成されました。導入部分には、がんという病気の解説も含まれておりますので、是非ご活用ください。



● アニメの使用に関して

アニメーションは著作権フリーとなっております(右のQRコードよりアクセス可能です)。適宜編集していただいても構いません。文部科学省HP「子供の学び応援サイト～学習支援コンテンツポータルサイト～」にも掲載されています。

がんはわずかな「リテラシーの違い」で、運命が変わる病気です。先生方のご尽力が充実した保健教育/がん教育につながります。生徒の未来を守るために、良い授業を創っていきましょう。



学校生活における アトピー性皮膚炎 Q & A 改訂について

『学校生活におけるアトピー性皮膚炎 Q & A』改訂委員会 委員長
前橋皮膚科医院 院長 大川 司

アトピー性皮膚炎は、小児の約1割にみられる疾患であり、かゆみのある湿疹が体の広い範囲に生じ、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら長く続くことが特徴です。見た目の変化が差別やいじめにつながることもあり、心理面の影響が大きい疾患でもあります。本症は、身体的、精神的、知的発育に最も重要な学校教育の時期に一致して見られることから、学校生活における管理と指導が極めて大切な疾患であり、アトピー性皮膚炎について正しく理解し、適切な対応ができる一助となるよう、平成11年3月、『学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q&A』が発行されました。

しかしながら、発行から20年以上が経過して、アトピー性皮膚炎の概念～治療のみならず、ほかのアレルギー疾患との関係性も大きく変わり、学校でのアレルギー疾患に対する取り組みも開始されたことから、改訂委員会が設置され、最新の情報を盛り込んだ改訂版を作成しました。(図)

改訂版は、3つの章からなり、第Ⅰ章 総論では、『アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021』、『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン 令和元年度改訂』に沿って、最新の情報をもとに解説し、スキンケアの重要性、食物についての現在の考え方、いじめの問題についても説明を加えました。第Ⅱ章 各論では、実際に学校生活で必要と思われる事柄について、注意事項、具体的対応、校内での連携、学校と保護者・医師との連携の項目に分けて解説を行いました。これらの内容は、関連学会が示した皮膚の学校感染症に関する登校の可否・プール対応、学校生活における紫外線対策に関する統一見解、『学校における水泳プールの保健衛生管理 平成28年度改訂』にも準拠して作成しています。さらに、学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)(令和元年度改訂)の活用、『児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂』の運用の要点についての説明も加えました。第Ⅲ章では、アトピー性皮膚炎の健診を行っている地域の具体的活動や学校での事例を紹介しています。

児童生徒は一日の多くの時間を学校で過ごしており、アトピー性皮膚炎を有する児童生徒もより快適に学校生活をおくることができるよう、改訂版をご活用いただければ幸いです。



図 学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q&A
(令和3年度改訂)

*販売の詳細はHPで

令和3年度 学校健康づくり啓発ポスターコンクール

受賞作品のお知らせ

日本学校保健会の令和3年度学校健康づくり啓発ポスターコンクールに全国から総数4,399点に及ぶご応募をいただき、ありがとうございました。

各部門の最優秀賞作品を使用したポスターは、健康づくり啓発の一環として、全国の学校等へ配布する予定です。



小学生部門最優秀賞

【小学生部門】応募数 2,589点

最優秀賞	東京都豊島区立朝日小学校	2年	鈴木 莉乃 さん
優秀賞	青森県立八戸聾学校	小学部4年	加賀ひなた さん
	東京都豊島区立池袋第三小学校	2年	神谷 優里 さん
	沖縄県うるま市立中原小学校	2年	稲福 柚音 さん

【中学生部門】応募数 1,382点

最優秀賞	富山県富山市立藤ノ木中学校	1年	池田 駿 さん
優秀賞	福岡県宗像市立城山中学校	2年	石橋 那菜 さん
	京都府立福知山高等学校附属中学校	3年	山崎 絢美 さん

【高校生部門】応募数 428点

最優秀賞	兵庫県立龍野北高等学校	1年	藤井 梨緒 さん
優秀賞	山形県立山形中央高等学校	2年	軽部 佳倫 さん
	愛知県立豊田高等特別支援学校	高等部2年	古村 瑠菜 さん
	大阪市立工芸高等学校	1年	平松 暖果 さん

■最優秀賞・優秀賞作品は、こちらからご覧になれます。

<https://www.gakkohoken.jp/themes/archives/155>



学校健康づくり啓発ポスターコンクールの審査を終えて

学校健康づくり啓発委員会 委員
全国造形教育連盟 元委員長 永関 和雄



一昨年から始まった新型コロナウイルスの感染は世界中に拡大し、学校のみならず人々の日常生活を大きく変え、ウイルスは次々と形を変えながらいまだ収束に至りません。しかし、こうした世界的な危機の中にあっても日本全国の学校では、「手洗い」「マスクの着用」「教室の換気」「黙食」などの対策がしっかりと行われています。これは、先生方や保護者のご指導はもとより社会的な規範意識の高さなどによるもので、日本人の誠実さや勤勉さの表れだと思えます。

このような危機感のある社会状況の中で行われた「令和3年度学校健康づくり啓発ポスターコンクール」には、昨年度ほどではありませんでしたが例年を大きく上回る応募があり、力作がたくさん寄せられました。昨年度は、大多数の応募作品が新型コロナウイルス感染防止をテーマにしていましたが、今年「新型コロナウイルス感染防止」をテーマとした作品は、全応募作品の半分程度でした。それ以外はこれまでのような「健康診断の大切さ」「バランスの良い食事」「熱中症に気をつけよう」「歯磨きをしっかりと」など学校や家庭での健康づくりを呼びかける作品で、平常の学校生活が戻りつつある感じがしました。また、コロナ禍で家で過ごすことが増えたせいか、スマートフォンの使い過ぎによる生活習慣の乱れ、夜ふかしや運動不足に注意することなどを呼びかけるポスターなども見られました。

本ポスターコンクールの意義は、第一にポスターの構想を練るときに健康な学校生活について一人一人が具体的に考える機会とすることですが、掲示された最優秀賞のポスターを見て正しい行動が触発されるようにすることも大切な目的です。全国の小中学校、高等学校、特別支援学校等におかれましては、配布されたポスターを児童生徒の目につく場所に掲示していただき、安全で健康な学校風土の中で、コロナウイルスに負けない意識や行動を見直すメッセージにしていきたいと思います。

令和3年度公益財団法人日本学校保健会賛助会員

〈五十音順・敬称略〉

令和4年2月7日現在

本年度も賛助会員にご加入いただき、誠に有難うございました。

特別賛助会員
大塚ホールディングス株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
カバヤ食品株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
ベルノ・リカール・ジャパン株式会社
マルホ株式会社
株式会社ミニマム
森永製菓株式会社
ライオン株式会社
株式会社ロッテ

学校保健用品等賛助会員
株式会社青井黒板製作所
青山眼鏡株式会社
味の素株式会社
赤城工業株式会社
株式会社アルボース
株式会社内田洋行
株式会社エー・アンド・デイ
株式会社EDUCOM
花王株式会社
河合薬業株式会社
菅公学生服株式会社
株式会社GLASSART
株式会社サイバーリンクス
蔵王産業株式会社
JCRファーマ株式会社
シキボウ株式会社
四国化成工業株式会社
株式会社システムディ
株式会社システムリサーチ
勝美印刷株式会社
スズキ教育ソフト株式会社
東京サラヤ株式会社
東京書籍株式会社
東ソー株式会社
東洋羽毛工業株式会社
南海化学株式会社
日産化学株式会社
株式会社日本医療機器開発機構
日本曹達株式会社
株式会社ピーカブー
株式会社ビッグウイング
株式会社文溪堂
リアルワールドデータ株式会社
リオンテック株式会社
株式会社両備システムズ

団体賛助会員
公益財団法人神経研究所
一般財団法人電気安全環境研究所
一般財団法人東京顕微鏡院
公益社団法人日本眼科医会
JES日本教育シューズ協議会
一般社団法人日本コンタクトレンズ協会
公益社団法人日本プールアムニティ協会

法人賛助会員
株式会社朝日エル
アサヒビール株式会社
株式会社映学社
株式会社オフテクス
科研製薬株式会社
株式会社ぎょうせい
株式会社サンギ
株式会社三和製作所
株式会社少年写真新聞社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ビジョンケアカンパニー
大幸薬品株式会社
株式会社ダンスノットアクト
中外製薬株式会社
日本アルコン株式会社
日本新薬株式会社
バイエル薬品株式会社
バイオジェン・ジャパン株式会社
株式会社メニコン
株式会社リーバー
ロート製薬株式会社
株式会社ワコール

匿名1社

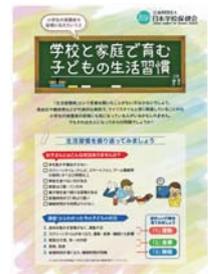
個人賛助会員
戸田 芳雄
高石 昌弘
宮浦 徹
菊池 信太郎
村松 章伊
土器屋 美貴子
菅尾 光子
福下 公子
柏井 真理子
高橋 達行
藤居 正博
宇津見 義一
森口 久子

匿名2名

特別賛助会員とは・・・

日本学校保健会と協働して資料の作成・配付、研修会の共催などを行っています。

(例：大塚ホールディングス株式会社様 協働事業「児童生徒の生活習慣向上啓発委員会」作成パンフレット)



公益財団法人日本学校保健会

令和4年度

賛助会員ご加入のお願い 学校保健をささえるご支援を！

本会の目的、事業に賛同される方々の賛助会員へのご加入をお願いしています。本会の賛助会員制度は、子どもたちのために事業活動を続ける本会の貴重な財務基盤の一つです。

加入のお申込み・詳細は、HPまたはお電話にてお問い合わせください。

※本会の賛助会費は、特定公益増進法人制度による会費の税制上の優遇処置を受けることができます。

詳細：<https://www.hokenkai.or.jp>

問合せ：TEL 03-3501-0968



虎ノ門 (173)

「心の測定温度は安定です」

2022年は、児童生徒の活躍の話題が主役になる年になればと祈っていましたが、願い叶わず、オミクロン株の急激な拡大での年明けとなってしまいました。1月23日から修学旅行を予定していた本校では、実施2週間前に、今年の修学旅行を中止することを決定し子どもたちへ連絡しました。放送での説明であったため、子どもたちの表情は見て取れません。「ああ、また中止か」「しょうがないんじゃない」などと、やるせない気持ちに整理をつけようとしたことと思います。気持ちを抑えこんでしまうことが何度となく繰り返される日々に、我々の気も重くなります。しかし、そのような中でも、学校に集い、明るく笑顔で挨拶を交わし、学習や部活動に取り組んでいる姿が救いです。

ところで、学校等、施設の出入口にサーモカメラが設置されている場所が多くなってきました。そこに顔を合わせると体温が表示され、「測定温度は正常です」というコメントが流れます。「確かに測定された温度は正常なのかもな」と思いながら、「これって、心の温度は測定できないよな、そんな機械はないよな」と呟いてしまいます。心の温度を測り高めるには、子どもたちとの語り合い、ぶつかり合いなど、コミュニケーションを図る以外に方法はありません。そのためにも、我々自身が心身の健康バランスを保って、明るく、楽しく、前向きに、日々の生活を送っていきましょう。チーム学校で対応し、子どもたちの「心の測定温度は安定です」に向けて、今年も頑張ります。

(会報『学校保健』編集委員 中間 芳秀)

令和4年度 ブロック別研究大会等開催一覧

令和4年1月31日現在

事業別	大会名	開催日	開催地
ブロック別大会	第69回北海道学校保健・安全研究大会 根室大会	未定	北海道根室市
	第55回東北学校保健大会	令和4年8月9日(火)	山形市
	第73回関東甲信越静学校保健大会	令和4年8月4日(木)	神奈川県横浜市
	第53回北陸三県学校保健研究協議会	(次期開催：令和5年度)	(福井県)
	第43回東海ブロック学校保健研究大会	令和4年10月14日(金)	愛知県名古屋
	第44回近畿学校保健連絡協議会	令和4年7月28日(木)	滋賀県栗東市
	第66回中国地区学校保健研究協議大会	令和4年8月18日(木)	鳥取県鳥取市
	第23回四国学校保健研究大会	(次期開催：令和5年度)	(香川県)
	第20回九州地区健康教育研究大会	令和4年8月2日(火) 8月3日(水)	長崎県
第73回指定都市学校保健協議会	令和4年6月5日(日)	熊本市	
全国大会・職域(団体)別大会	令和4年度 全国学校保健・安全研究大会	令和4年11月10日(木) 11月11日(金)	岩手県
	令和4年度 全国学校保健会中央大会	令和4年11月11日(金)	岩手県
	第72回全国学校歯科医協議会	令和4年11月10日(木)	岩手県
	第72回全国学校薬剤師大会	令和4年11月10日(木)	岩手県
	第53回全国学校保健・学校医大会	令和4年11月12日(土)	岩手県
	第86回全国学校歯科保健研究大会	令和4年10月20日(木)	山梨県
	令和4年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	令和4年11月17日(木) 11月18日(金)	和歌山県和歌山市
	第65回全国学校保健主事研究大会(青森大会)	令和4年7月29日(金)	青森県
	全国養護教諭連絡協議会 第28回研究協議会	令和5年2月予定	東京都港区
	令和4年度 全国学校保健会運営担当者会議	令和4年4月15日(金)	東京都港区
	全国健康づくり推進学校表彰式	令和5年2月4日予定	東京都文京区
公益財団法人日本学校保健会事業報告会	令和5年2月予定	東京都港区	

Menicon **コンタクトレンズや瞳に関するホームページをご用意いたしました!**
学校でのご指導にぜひお役立てください。

おすすめコンテンツ

1 はじめてガイド
 コンタクトレンズの魅力や種類、使い方などをわかりやすく紹介し、コンタクトレンズデビューを応援するコンテンツ。
 コンタクトレンズデビューはここから!
**はじめよう
コンタクトライフ**

**2 うんこ先生と学ぶ!
はじめてのコンタクトレンズ**
 メニコンと「うんこドリル」が合体!うんこ先生といっしょに「目」について楽しく学べる特設サイトとゲームを公開。
**うんこ先生と学ぶ!
はじめての
コンタクトレンズ**

3 #カラコンのコレカラ
 目の安全を守りながら健康的にカラコン(カラーコンタクト・サークルレンズ)を楽しむための情報発信サイト。
#カラコンのコレカラ
 Produced by Makibon

詳しくはこちら <https://www.menicon.co.jp/gh/>



●赤玉
レキュラータイプ
アクアピル 2
水溶性に溶けて、プールはいつも透明!
スイミングプール用浄化剤
aquapill 2
KEEP OUT OF BEACH OF CHILDREN
GARDER HORS DE LA PISCINE DES ENFANTS

日本学校保健会の推薦商品(プール浄化剤 アクアピル)
 透明度を高めます。(No. 2) 藻を防ぎます。(No. 5)
※無料サンプルを提供します。



〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂1-5-1
 蔵王産業株式会社 商事営業本部 03-5701-7272

●青玉
aquapill 5
Inhibits the Growth of All Types of Algae
NON-FOAMING ALGAEKILLER
CAUTION: KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN



Lumone
ルモネ

GOOD DESIGN HARBO DOWN

◆日本学校保健会推薦用品
 ルモネのゴア®羽毛掛けふとん、合掛けふとん、肌掛けふとん、ピュアライト・ダウン敷きふとん、ダウン敷きパッドは、日本学校保健会の推薦用品です。

TUK 東洋羽毛工業株式会社
 〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-26-5
<https://www.toyoumo.co.jp>
 お客様相談室 **0120-410840**

学校保健の最新情報を満載 **一般書店等でも購入できます!**

令和3年度版 学校保健の動向

特集 **新型コロナウイルス感染症流行の動向と学校保健** ほか

- 第1章 健康管理の動向 感染症、児童生徒の発育・発達、眼科等科目別ほか
- 第2章 学校環境衛生の動向 学校環境衛生、学校給食の衛生管理
- 第3章 健康教育の動向 保健教育、安全教育、食育、エイズ・性教育ほか
- 第4章 学校保健に関する組織・団体の最近の動向
- 第5章 資料編 学校保健関連年表

■養護教諭、大学関係者必携 ■養護教諭養成課程の学生の採用試験対策としても最適



発行/日本学校保健会
2,800円(十税)

令和3年度「学校保健用品・図書等推薦」一覧 推薦期間：～令和4年3月31日		
品 目	摘 要	会 社 名
アルソフト手指消毒ローション (指定医薬部外品)	手指の消毒、除菌	東京サラヤ株式会社